

<8月31日は【野菜の日】「2019年度 野菜と家庭菜園に関する調査」> **「好きな野菜」大人も子どもも「トマト」が不動の1位！**

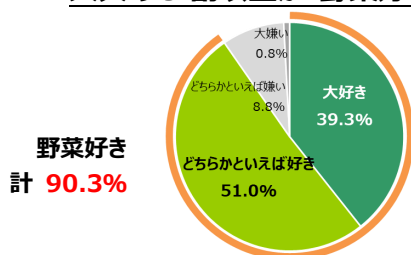
野菜の『包装』、「なくても抵抗感なし」が8割、その理由は「地球にやさしいと思うから」

「野菜好き」の大人は9割以上、子どもは6割以上に料理をする人の約7割が「時短料理派」。その救世主は「トマト」「たまねぎ」「キャベツ」みんなが実践している「家庭菜園のコツ」とは？

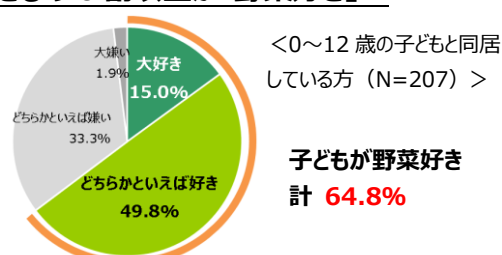
タキイ種苗株式会社(所在地:京都市下京区、代表取締役社長:瀧井傳一)は、8月31日の「やさいの日」を前に全国の20歳以上の男女600人(農業関連従事者、食料/飲料(酒類除く)の卸売・小売業従事者除く)を対象に、今年で11回目となる「野菜」にまつわるイメージ評価や、野菜作り(家庭菜園/ベランダ菜園)の関心度、実践状況を調査(インターネット調査)しました(調査期間:2019.7.10~7.12)。

調査結果 Topics !

大人の9割以上が「野菜好き」!



子どもの6割以上が「野菜好き」!



■ **人気No.1野菜は、大人・子どもともに「トマト」!**

好きな野菜No.1は、大人・子どもともに「トマト」(大人68.2%、子ども53.1%)で、大人は11年連続、子どもは8年連続のトップとなり、不動の人気を示しました。

■ **子どもに食べさせるために作る料理1位「カレー」2位「ハンバーグ」**

子どもに食べさせるのに苦労した野菜1位は「ピーマン」。また、親が子どもに野菜を食べさせるために作る料理では、1位「カレー」(54.2%)、2位「ハンバーグ」(48.4%)が上位にランクインしました。

■ **2人に1人が家庭菜園をやったことある一方、7割以上が失敗を経験! 野菜作りのコツとは!?**

家庭菜園について、約半数の人が「経験がある」と回答し、メジャーになりつつある一方、家庭菜園失敗をしたことがある人はそのうち72.3%という結果となりました。野菜作りにおいて実践しているコツを聞くと「もったいなくても間引く!」「野菜作りは土づくり」などの回答がありました。

■ **野菜の『包装』「なくても抵抗感なし」が8割、その理由は「地球にやさしいと思うから」**

近年プラスチックゴミが問題視されていますが、「野菜の包装がなくても抵抗がない」(80.4%)、「包装がない方がいい」(60.0%)と、地球のために包装を減らしたいと考える人が多いことがわかりました。

■ **約7割が「時短料理派」! 時短料理の救世主は「トマト」「たまねぎ」「キャベツ」**

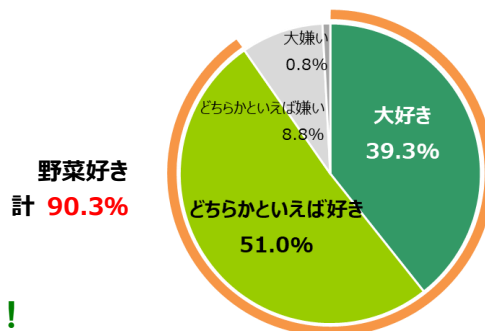
料理について、こだわりよりも時短を優先する人が67.0%となりました。時短料理の際に使う野菜では、「トマト」(51.9%)が1位となり、続いて2位「たまねぎ」(41.5%)、3位「キャベツ」(39.3%)がランクインしました。

1. 野菜と大人

① 「野菜好き」の大人、9割を超える！

野菜が「大好き」(39.3%)、「どちらかといえば好き」(51.0%)な大人は、合わせて90.3%となり、前年度から4ポイント増で、9割を超えました。特に「大好き」が4.1ポイント上昇しており、野菜好きの大人が増えているという結果になりました。

●あなたは野菜が好きですか？ (N=600)



② 「好きな野菜」令和初の栄冠は「トマト」。11年連続 No.1！

「とうもろこし」「アスパラ」「さつまいも」が人気上昇中！

大人の好きな野菜では、「トマト」(68.2%)が11年連続で1位となり、2位の「たまねぎ」(65.3%)とともに安定の人気を示しました。「とうもろこし」(65.2%)は前年度から6.5ポイント増で、トップ3入りを果たしています。

7位「アスパラ」(59.2%)は5.9ポイント増、8位「さつまいも」(58.5%)は7.2ポイント増と、ともに大幅にスコアを上げ、昨年度のランク外からトップ10入りとなっています。

一方、「白菜」「きゅうり」がランク外となりました。

●大人が好きな野菜 トップ10 (2018年、2019年比較)

2018年 (N=600) ※複数回答、トップ10

1位	トマト	65.8%
2位	たまねぎ	65.0%
3位	枝豆	60.5%
4位	じゃがいも	60.3%
5位	キャベツ	59.8%
6位	とうもろこし	58.7%
7位	大根	58.5%
8位	きゅうり	57.7%
9位	なす	55.7%
10位	白菜	54.0%

2019年 (N=600) ※複数回答、トップ10

1位	トマト	68.2%	➡ +2.4pt
2位	たまねぎ	65.3%	➡ +0.3pt
3位	とうもろこし	65.2%	⬆️ +6.5pt
4位	じゃがいも	64.5%	➡ +4.2pt
4位	枝豆	64.5%	⬇️ +4pt
6位	なす	60.2%	⬆️ +4.5pt
7位	アスパラ	59.2%	⬆️ +5.9pt
8位	大根	58.5%	⬇️ ±0
8位	さつまいも	58.5%	⬆️ +7.2pt
8位	キャベツ	58.5%	⬇️ -1.3pt

③ 「セロリ」「ゴーヤ」が苦手な野菜のトップ2。

約4割の大人は「嫌いな野菜がない」！

大人が嫌いな野菜は、1位「セロリ」(24.3%)、2位「ゴーヤ」(20.3%)でした。ゴーヤは昨年度より7.5ポイント減となり、嫌いな人は2割にとどまっています。「嫌いな野菜は特にない」(37.8%)は昨年度より5.6ポイント増となり、ポイントで見ると嫌いな野菜がない人が増えていることがわかりました。

●大人が嫌いな野菜 トップ10 (2018年、2019年比較)

2018年 (N=600) ※複数回答、トップ10

1位	ゴーヤ	27.8%
2位	セロリ	27.7%
3位	モロヘイヤ	18.2%
4位	春菊	16.2%
4位	カリフラワー	16.2%
6位	ズッキーニ	11.5%
7位	トマト	10.3%
8位	そら豆	9.8%
9位	にんじん	9.7%
10位	とうがらし	9.2%
嫌いな野菜は特にない		32.2%

2019年 (N=600) ※複数回答、トップ10

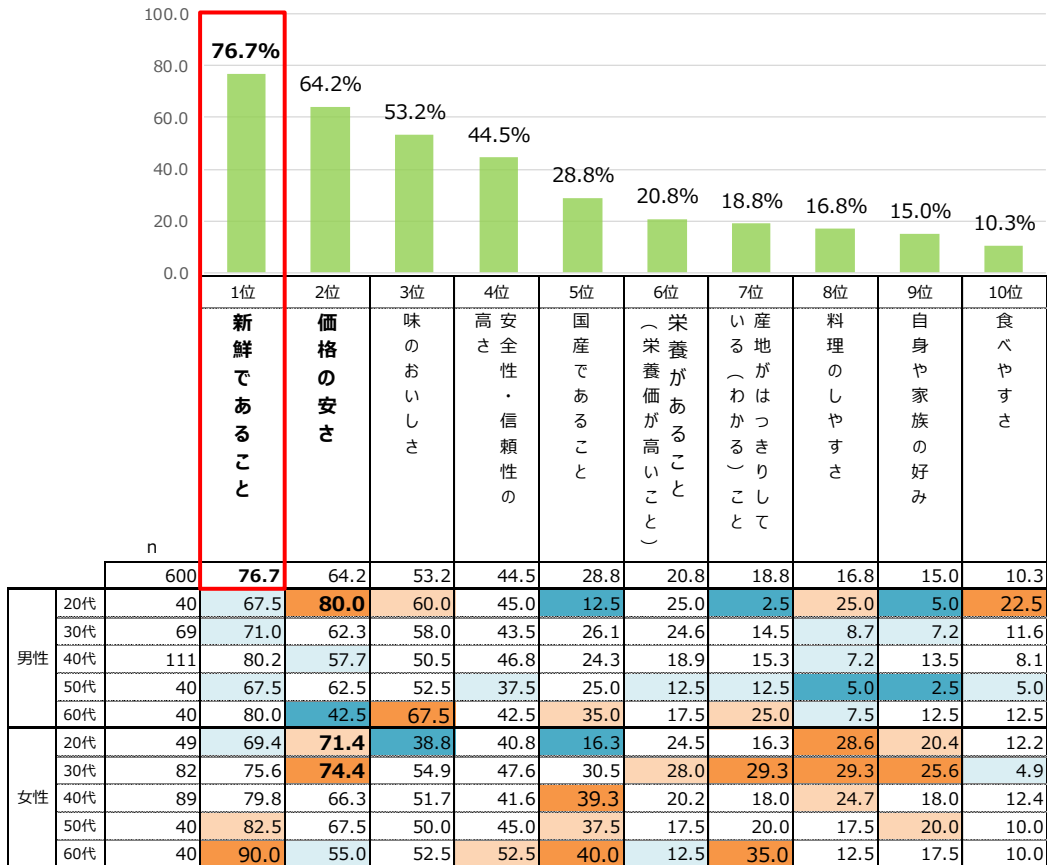
1位	セロリ	24.3%	⬆️ -3.4pt
2位	ゴーヤ	20.3%	⬇️ -7.5pt
3位	春菊	16.2%	⬆️ ±0
4位	モロヘイヤ	13.3%	⬇️ -4.9pt
5位	カリフラワー	12.2%	➡ -4pt
6位	ズッキーニ	9.8%	➡ -1.7pt
7位	とうがらし	9.0%	⬆️ -0.2pt
8位	にんじん	7.8%	⬆️ -1.9pt
9位	かぶ	7.7%	⬆️ +1.4pt
10位	ししとう	7.5%	⬆️ +0.5pt
嫌いな野菜は特にない		37.8%	⬆️ +5.6pt

④ 野菜を選ぶ際に最も重視するのは「新鮮であること」

一方、20代男性は「価格の安さ」を最も重視

野菜を食べる際や購入する際に重視するポイントとしては、「新鮮であること」(76.7%)が最も多く挙げられました。2位の「価格の安さ」(64.2%)は、特に20代男性(80.0%)と30代女性(74.4%)の割合が高く、若い世代・子育て世代で価格面を重視する人が多い結果となりました。

●野菜を食べる際や購入する際に重視しているポイント ※5つまで回答、上位10項目 <全体(N=600)>



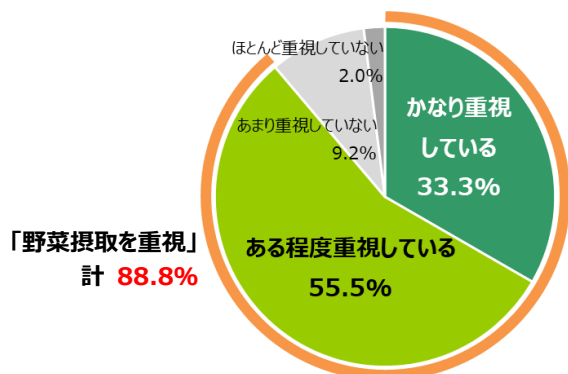
2. 野菜摂取の意識と課題

① 約9割が「野菜摂取を重視」の一方、野菜を「十分に食べている」実態は16.7%のみ

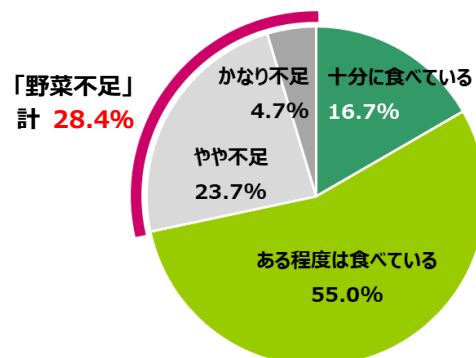
野菜摂取の重視度では、「かなり重視」(33.3%)、「ある程度重視」(55.5%)を合わせて88.8%と、約9割に上り、昨年度から5.1ポイント増で、ほとんどの人が野菜摂取を重視していることがわかりました。

その一方で、「野菜を十分に食べている」と実感している人は16.7%にとどまり、「かなり不足」(4.7%)、「やや不足」(23.7%)を合わせて28.4%と、野菜不足を実感している人が約3割いることが明らかになりました。

●野菜摂取の重要度 <全体(N=600)>



●野菜の十分な摂取について <全体(N=600)>



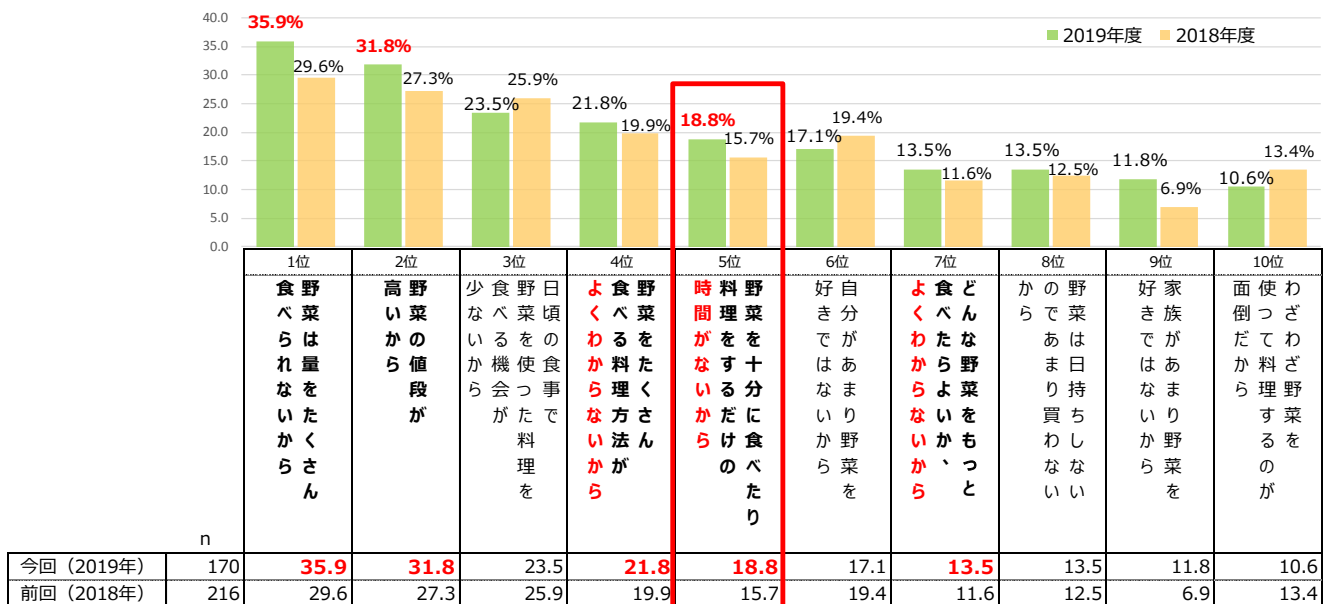
② 野菜不足の一番の要因は「量を食べられない」、「値段が高い」

野菜を食べる方法・どんな野菜を食べたいかが「よくわからない」との悩みも

「野菜不足」を実感している人に「十分に取れていない理由」を聞いたところ、1位「量をたくさん食べられないから」(35.9%)は前年度から6.3ポイント増となりました。2位「野菜の値段が高いから」(31.8%)は4.5ポイント増となり、価格面がネックになっている様子もわかりました。

5位の「野菜を十分に食べたり料理をするだけの時間がないから」(18.8%)は、3.1ポイント増で、忙しい現代人の様子と、野菜を十分に食べるには時間が必要であることがうかがえます。また、4位「野菜をたくさん食べる料理方法がよくわからないから」(21.8%)、7位「どんな野菜をもっと食べたらよいか、よくわからないから」(13.5%)がそれぞれ微増しており、野菜をたくさん使う料理方法や、摂取すべき野菜についての知識が、野菜不足解消のためのひとつのカギになりそうです。

●野菜を十分に取れていない理由 ※複数回答、上位10項目 <野菜が不足していると思っている方(2019年N=170、2018年N=216)>



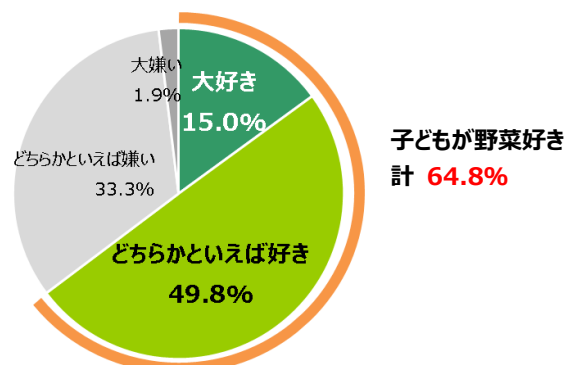
3. 子どもと野菜

① 約7割の子どもが「野菜好き」!

12歳以下の子どもがいる家庭に絞り、子どもの野菜の好き嫌いについて尋ねたところ、野菜が「大好き」(15.0%)、「どちらかといえば好き」(49.8%)を合わせて64.8%の子どもが「野菜好き」であることがわかりました。

●あなたのお子さまは野菜が好きですか？

<0~12歳の子どもの同居している方(N=207)>



② 「子どもが好きな野菜」も「トマト」が No.1 !

大人と同様、「とうもろこし」と「さつまいも」が人気

子どもが好きな野菜の1位は、「トマト」(53.1%)となりました。大人のランキングにおいて人気が上昇していた「さつまいも」と「とうもろこし」は、子どものランキングでも2位(49.8%)と3位(49.3%)という上位を占めており、年齢を問わず人気であることがわかりました。

子どものランキングでは、「さつまいも」、「とうもろこし」、「スイカ」(4位、47.3%)、「メロン」(6位、41.1%)、「かぼちゃ」(9位、34.3%)と、甘みのあるフルーツのような野菜がトップ10に入っていることが特徴的な結果でした。

③ 「ゴーヤ」は不動の1位か。「嫌いな野菜がない」子どもは15.9% !

子どもが嫌いな野菜は、「ゴーヤ」(39.6%)が1位となりました。続いて2位「ピーマン」(31.4%)、3位「春菊」「セロリ」(共に30.4%)が上位となっています。また、うち3つは大人のトップ3と同じ結果となり、苦手な人が多いことがわかりました。また、「嫌いな野菜は特にない」子どもは15.9%であり、8割以上の子どもは、何かしら苦手な野菜があることがわかりました。

「好きな野菜」で大人・子どもどちらからも不動の人気を誇る「トマト」は、「子どもが嫌いな野菜ランキング」では23.2%で7位にランクイン。大人のランキングと異なる点では、大人の「好きな野菜」で9位、「嫌いな野菜」ではランク外の「ピーマン」が31.4%で2位、同じく大人ではランク外「なす」が24.2%で6位となっています。「ピーマン」、「なす」は、大人になるにつれて好きになる野菜であるようです。苦味・辛味・香味の強い野菜が苦手な子どもが多いことがうかがえる結果となりました。

●子どもが好きな野菜トップ10

2019年<0~12歳の子どもの同居している方 (N=207) >

※複数回答、トップ10

1位	トマト	53.1%
2位	さつまいも	49.8%
3位	とうもろこし	49.3%
4位	スイカ	47.3%
5位	じゃがいも	45.9%
6位	メロン	41.1%
7位	枝豆	36.7%
8位	きゅうり	35.3%
9位	かぼちゃ	34.3%
10位	にんじん	32.4%

●子どもが嫌いな野菜トップ10

2019年<0~12歳の子どもの同居している方 (N=207) >

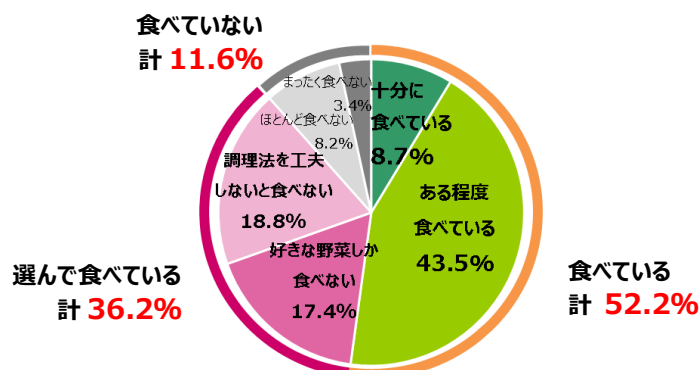
※複数回答、トップ10

1位	ゴーヤ	39.6%
2位	ピーマン	31.4%
3位	春菊	30.4%
3位	セロリ	30.4%
5位	とうがらし	29.5%
6位	なす	24.2%
7位	トマト	23.2%
8位	ししとう	21.7%
9位	モロヘイヤ	20.3%
10位	ネギ	19.3%
嫌いな野菜は特にない		15.9%

④ 選んで野菜を食べる子どもに苦労している親は3割以上

子どもの野菜摂取について、「十分に食べている」との実感は8.7%にとどまったものの、「ある程度食べている」(43.5%)を合わせると52.2%と、過半数を超えました。子どもの2人に1人は野菜を摂取できていることがわかります。また、「好きな野菜しか食べない」(17.4%)、「調理法を工夫しないと食べない」(18.8%)を合わせると36.2%となり、3割の親は子どもに野菜を食べさせるにあたっての悩みや苦労があることがわかりました。

●子どもの野菜摂取について<0~12歳の子どもの同居している方 (N=207) >



⑤ 子どもに食べさせるのに苦労する(した)野菜 No.1 は「ピーマン」

3-④の結果から、子どもに野菜を食べさせるために悩みがある親が3割以上いることがわかりました。「食べさせるのに苦労する(した)野菜」では、1位「ピーマン」(17.0%)となりました。2位には、「子どもの好きな野菜ランキング」では1位を飾った「トマト」(14.4%)がランクイン。以下、「なす」「ゴーヤ」「セロリ」「ネギ」「春菊」「とうがらし」など、「子どもが嫌いな野菜ランキング」の常連が並ぶ結果となりました。

一方、「食べさせるのに苦労する(した)野菜は特にない」は39.5%と、約4割となっています。

⑥ 「カレー」「ハンバーグ」「スープ」は、子どもが野菜を食べる料理トップ3!

子どもに野菜を摂取させるため、親はさまざまな工夫をしていることがわかりましたが、子どもに野菜を食べさせるために作る料理では、1位「カレー」(54.2%)、2位「ハンバーグ」(48.4%)が約半数となり、そのほかにも子どもが好きな定番メニューがトップ10入りしています。1位「カレー」を筆頭に、「お好み焼き」「シチュー」「焼きそば」など、味付けがしっかりとしているメニューや、2位「ハンバーグ」をはじめ、「チャーハン」「餃子」のように、細かく刻んだ野菜を入れる料理によって、子どもに野菜を食べさせている様子がうかがえます。

●子どもに食べさせるのに苦労した野菜

<子どもと同居している方 (N=306) >

※複数回答、トップ10

1位	ピーマン	17.0%
2位	トマト	14.4%
3位	なす	14.1%
4位	にんじん	11.4%
5位	ゴーヤ	10.5%
6位	セロリ	9.8%
7位	ネギ	9.5%
8位	小松菜	8.8%
9位	春菊	8.5%
10位	とうがらし	8.2%
食べさせるのに苦労する(した)野菜は特にない		39.5%

●子どもに野菜を食べさせるために作る料理

<子どもと同居している方 (N=306) >

※複数回答、トップ10

1位	カレー	54.2%
2位	ハンバーグ	48.4%
3位	スープ	38.9%
4位	チャーハン	29.7%
5位	お好み焼き	25.2%
6位	餃子	24.5%
7位	シチュー	24.2%
8位	サラダ	21.2%
9位	焼きそば	20.3%
10位	スパゲッティ	18.6%

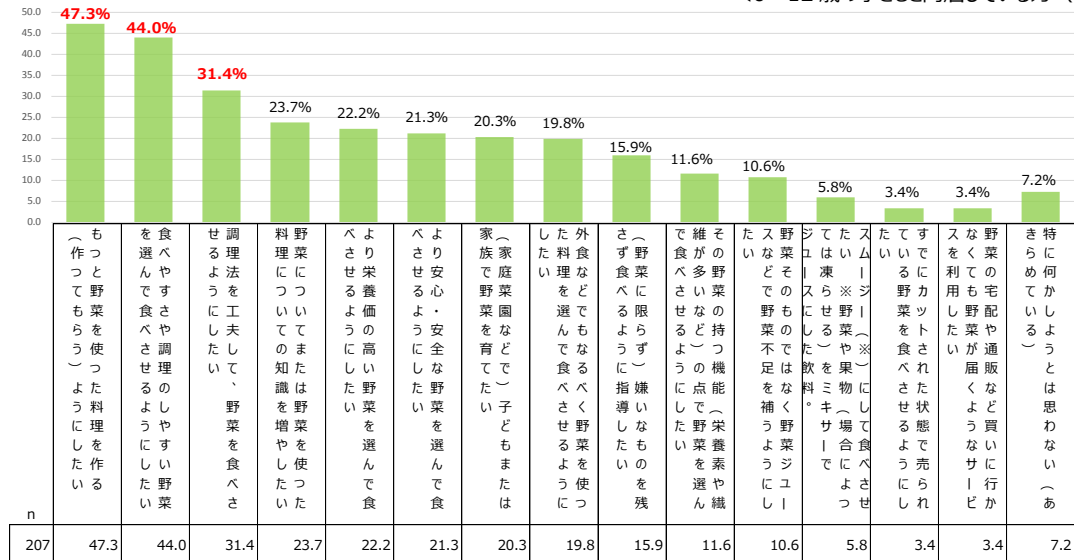
⑦ 子どもに野菜を摂取させるため、「手料理」「調理法」にこだわる親の愛情！

子どもの野菜摂取量を増やすために取り組みたいことについて聞いてみると、1位「もっと野菜を使った料理を作る(作ってもらふ)ようにしたい」、2位「食べやすさや調理のしやすい野菜を選んで食べさせるようにしたい」、3位「調理法を工夫して、野菜を食べさせるようにしたい」という結果となりました。

子どものために手料理を多く作ったり、調理法を工夫したりと、親の愛情が調査結果よりうかがえます。

●子どもに野菜をもっと摂取させるために取り組みたいこと

<0～12歳の子どもの同居している方 (N=207)>



子どもに野菜を食べさせるために行っていること (自由回答)

上記以外に、子どもに野菜を食べさせるために行っていることについて、自由回答で答えてもらいました。

- 「野菜だけでなく、出されたものは全部食べないとデザートは無し！」(40代女性)
- 「ひとくち食べたら、大袈裟に褒める。少しでも調理のお手伝いをしてもらう。隣で一緒に食べる」(40代女性)
- 「野菜が大好きな子どもなので、家で栽培できるものはして、採れたてを食べさせたりします」(30代女性)
- 「野菜を食べさせるための工夫はない。応援するだけ」(30代男性)
- 「学校の調理実習で料理することで食べられるようになった野菜があるので、家でも料理をさせてみた」(40代女性)
- 「細かく刻んだり、すりおろしたりしている」(40代男性)

デザートをご褒美にして完食を目指す作戦や、栽培や料理など、自分で作ったものを食べさせる作戦、細かく刻む・すりおろすといった調理の工夫など多様な取り組みや、「ひたすら応援する」など、子どもに野菜をしっかりと摂取させるための、ご両親の愛のこもったさまざまな取り組みの声が寄せられました。

4. 機能性成分を多く含む野菜について

① 3人に1人が「機能性成分を多く含む野菜」を知っている！

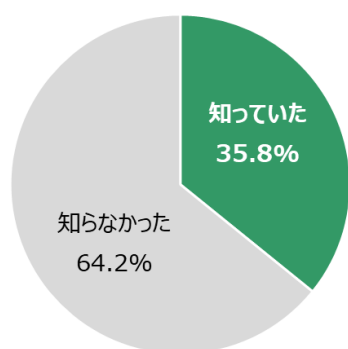
「栄養価の高い野菜」は、「野菜を食べる際や購入する際に重視すること」(1-④)や、「子どもに野菜をもっと摂取させるために取り組みたいこと」(3-⑦)でも注目されていることがわかりましたが、リコピンやカロテンなど、「機能性成分を多く含む野菜」の認知度は、今年度は35.8%と、3人に1人は知っていることがわかりました。

② 8割以上が「機能性成分を多く含む野菜」の摂取意向あり

「機能性成分を多く含む野菜を食生活に取り入れたい」と考えている人は、「そう思う」(26.7%)、「どちらかといえば思う」(58.5%)の合計が85.2%と、前年度より3ポイント増となり、大多数の人が摂取意向を持っていることが明らかになりました。

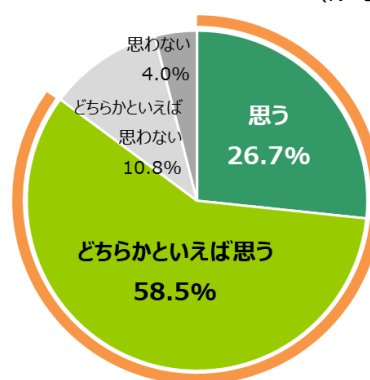
●機能性成分を多く含む野菜の認知

(N=600)



●機能性成分を多く含む野菜の摂取意向

(N=600)



「摂取意向あり」
計 85.2%

③ 「体に良さそう」「家族の健康のため」に取り入れたい「機能性成分を多く含む野菜」

「機能性成分を多く含む野菜を食生活に取り入れたい理由」では、1位が「体(健康)に良さそうだから」(37.4%)と、約4割になりました。2位の「家族の健康のため」(26.0%)や、4位の「病気(生活習慣病など)に効果がありそうだから」(4.7%)などを含めると、「機能性成分を多く含む野菜」を食生活に取り入れることによって得られる、健康効果を期待する人が多いようです。

また、3位「効率的に野菜の栄養素を取り入れたいから」(22.5%)をはじめ、「日頃の野菜の摂取量が少ないから」、「少量でも栄養素を摂取できそうだから」など、日頃の野菜不足の解消や、効率的な栄養素の摂取を期待する声も多く寄せられました。

●機能性成分を多く含む野菜を食生活に取り入れたい理由 <機能性成分を多く含む野菜の摂取意向あり (N=511) >

※単純回答、トップ7

1位	体(健康)に良さそうだから	37.4%
2位	家族の健康のため	26.0%
3位	効率的に野菜の栄養素を取り入れたいから	22.5%
4位	病気(生活習慣病など)に効果がありそうだから	4.7%
5位	おいしそうだから	4.3%
6位	日頃の野菜の摂取量が少ないから	2.3%
6位	少量でも栄養素を摂取できそうだから	2.3%



「目指したのは、野菜本来のチカラ」 タキイ種苗の「ファイトリッチ」シリーズ

「ファイトリッチ」は、タキイ種苗が開発した、機能性成分を豊富に含む、おいしい健康野菜シリーズです。



◆ 野菜の色素成分

平安時代に確立されたといわれる、食卓に5色の食材を用いる形。野菜にも多くの色素成分が含まれ、タキイは大きく5つのグループに分けました。



◆◆◆ 商品紹介(一部) ◆◆◆

<p>リコピン</p> <p>京くれない 金時にんじんと五時にんじんの中間型。リコピンとカロテンをバランスよく含み、甘みに富んだにんじん。</p> <p>従来にんじんにほとんど含まれないリコピンがプラス</p> 	<p>シスリコピン</p> <p>桃太郎ゴールド リコピンよりも体内に吸収されやすいというシスリコピンを多く含む、彩り鮮やかなトマト。</p> <p>シスリコピンは従来トマトの約4倍</p> 	<p>カロテン</p> <p>ピー太郎(こどもピーマン) 肉厚ジューシーで苦みが少なく子どもでも食べやすい、今までにない、まったく新しいピーマン</p> <p>カロテンは従来ピーマンの約2倍</p> 
<p>ケルセチン</p> <p>ケルたま 皮色が濃く密着性に優れる。コクがあり加熱すると甘みが引き立つ。長期貯蔵で傷みにくいタマネギ。</p> <p>ケルセチンは従来秋まきタマネギの約1.5倍</p> 	<p>ルテイン</p> <p>弁天丸 べんてんまる 低温化では特に甘味が増し、特有のアクが少なく、おいしいホウレンソウ。</p> <p>ルテインは従来ホウレンソウの約1.5倍</p> 	<p>アントシアニン</p> <p>紅法師 べにほうし シャキシャキした食感でクセがなく、色抜けも少ないミズナ。</p> <p>アントシアニンは従来ミズナの5倍以上</p> 

5. 家庭菜園について

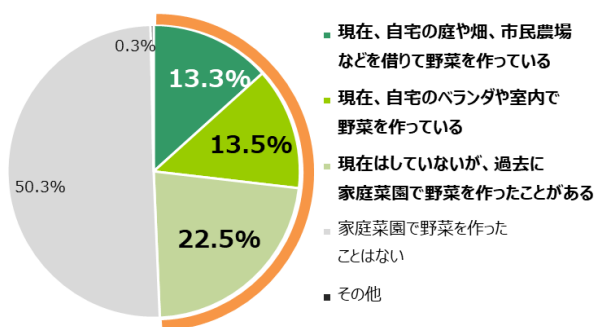
① 2人に1人が「家庭菜園の経験あり」！未経験者でも、約4割が「家庭菜園をやってみたい」！

「現在、家庭菜園で野菜を作っている」人（自宅の庭や畑、市民農場と、ベランダや室内で野菜を作っている人の合計）は26.8%で、「過去に経験がある」(22.5%)と合わせると、49.3%と、約半数が「家庭菜園の経験がある」ことが明らかになり、前年度より3ポイント増となりました。

また、家庭菜園は現在まで未経験でも、「家庭菜園で野菜をやってみたい」と考えている人は37.4%となり、約4割の人が関心を持っていることがわかりました。

●家庭菜園で野菜を作った経験

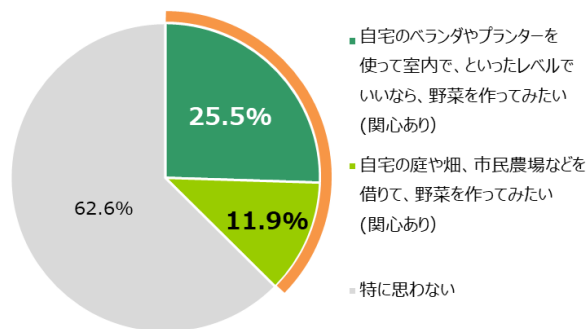
<全体 (N=600) >



「家庭菜園の経験あり」計 **49.3%**

●家庭菜園で野菜をやってみたいか

<家庭菜園未経験 (N=302) >



「家庭菜園で野菜を作りたい」計 **37.4%**

② 家庭菜園で育てる野菜の人気No.1も「トマト」！

「嫌いな野菜ランキング」常連でも、家庭菜園では人気の野菜とは？

家庭菜園の経験者に聞いた、「家庭菜園で作っている（作ったことがある）野菜」では、「トマト」(81.8%)が2位「きゅうり」(51.4%)に30.4ポイントの差をつけて1位となり、絶対的な人気を示しています。

「好きな野菜ランキング」でも人気だった「なす」(3位/43.6%)、「枝豆」(8位/17.6%)、がランクインしている一方で、「嫌いな野菜ランキング」で大人・子どもともにトップ10入りした「ゴーヤ」(6位/19.3%)、子どものランキングでトップ10の常連である「ピーマン」(4位/32.1%)、「ネギ」(5位/28.4%)もランクインしており、「野菜作り」において人気の高い野菜であることがわかりました。

●家庭菜園で作る（作ったことがある）野菜

<家庭菜園経験者 (N=296) >

※複数回答、トップ10

1位	トマト	81.8%
2位	きゅうり	51.4%
3位	なす	43.6%
4位	ピーマン	32.1%
5位	ネギ	28.4%
6位	ゴーヤ	19.3%
7位	オクラ	18.9%
8位	枝豆	17.6%
9位	じゃがいも	17.2%
10位	ハーブ類	14.5%

③ 「趣味として」「新鮮な野菜を食べたくて」家庭菜園を始めた人が、約半数！

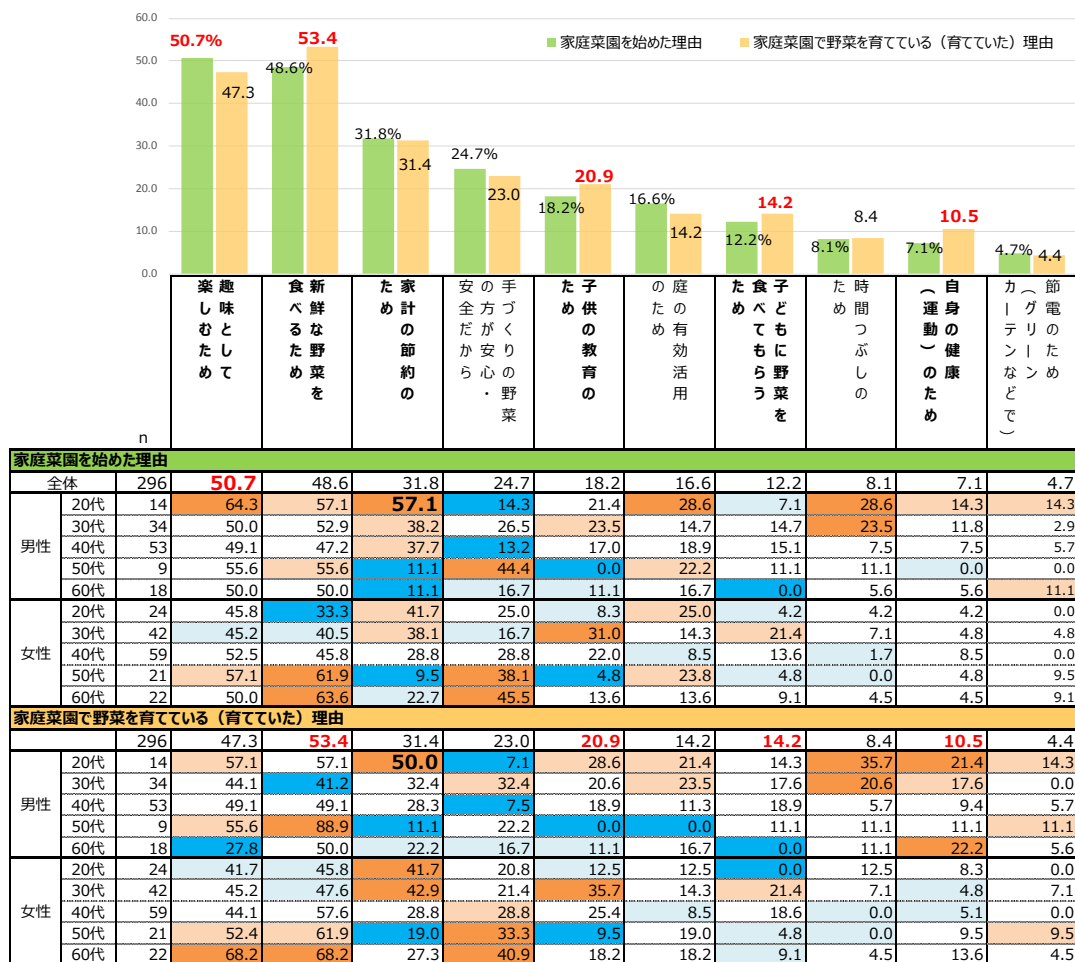
「家庭菜園を始めた理由」では、「趣味として楽しむため」(50.7%)が1位となり、2位に「新鮮な野菜を食べるため」(48.6%)が続きました。一方、「家庭菜園で野菜を育てている(育てていた)理由」になると順位が入れ替わり、「新鮮な野菜を食べるため」(53.4%)が1位、「趣味として楽しむため」(47.3%)が2位となりました。

このように、家庭菜園を始めた理由と、野菜を育てている(育てていた)理由を比較すると、家庭菜園を続ける中でスコアが高くなる項目があることが明らかになりました。

「新鮮な野菜を食べるため」(48.6%→53.4% ※4.8ポイント増)、「子どもの教育のため」(18.2%→20.9% ※2.7ポイント増)、「子どもに野菜を食べてもらうため」(12.2%→14.2% ※2.0ポイント増)、「自身の健康(運動)のため」(7.1%→10.5% ※3.4ポイント増)と、それぞれ「家庭菜園で野菜を育てている(育てていた)理由」の方がスコアを上げており、これらの項目は、家庭菜園をやってみて初めて実感できる理由なのかもしれません。

性年代別に見ると、「家計の節約のため」の項目では、20代男性が「家庭菜園を始めた理由」で57.1%と全体より25.3ポイントも高いスコアとなり、「家庭菜園で野菜を育てている(育てていた)理由」でも50.0%と全体より18.6ポイント高く、20代男性の節約意識の高さがうかがえました。

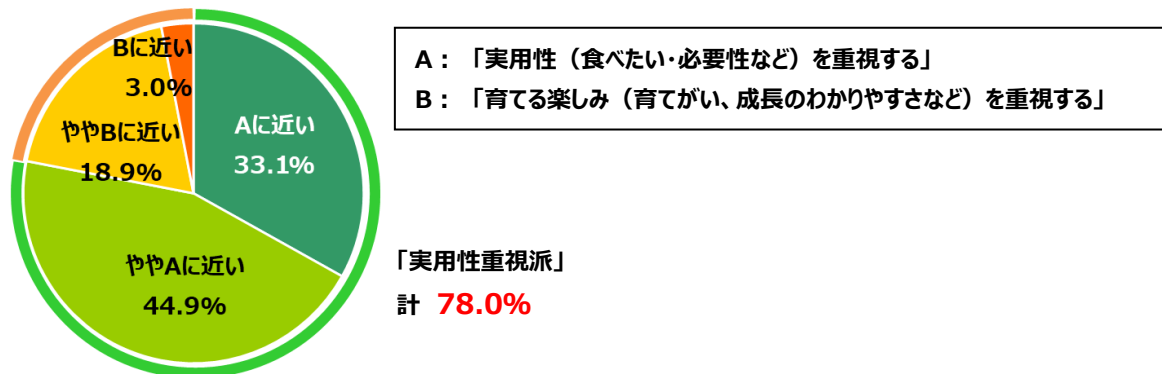
●「家庭菜園を始めた理由」&「家庭菜園で野菜を育てている(育てていた)理由」<家庭菜園経験あり(N=296)>



④ タネや苗を選ぶ基準、「実用性重視派」が約8割！

家庭菜園の苗やタネを選ぶ基準では、「(苗やタネを選ぶときは)実用性(食べたい・必要性など)を重視する派」が78.0%となり、「育てる楽しみ(育てがい、成長のわかりやすさなど)を重視する派」(21.9%)より圧倒的に多く、実用性を重視して苗やタネを選ぶ人がほとんどであることがわかりました。

●苗やタネを購入、もしくは選ぶときに意識すること <家庭菜園経験あり (N=296) >



⑤ 家庭菜園のタネや苗を選ぶ際に重視するのは「野菜の品種名」。袋やラベルの表記にも注目

家庭菜園で野菜を育てるために購入するタネ・苗を購入する際に重視する点では、1位が「野菜の品種名」(61.8%)となりました。4位には「金額が安いもの」(21.6%)がランクインしましたが、2位・3位・5位はそれぞれ「タネ袋・苗ラベル」に記載されている「まきどきの期間」、「植えてから収穫までの期間」、「野菜の紹介文」となり、タネ・苗選びの際に「タネ袋・苗ラベル」記載の情報は、欠かせないものであることがわかる結果となりました。

●家庭菜園で植えるタネ・苗を購入するときに重視するもの <家庭菜園経験あり (N=296) >

※複数回答、トップ5

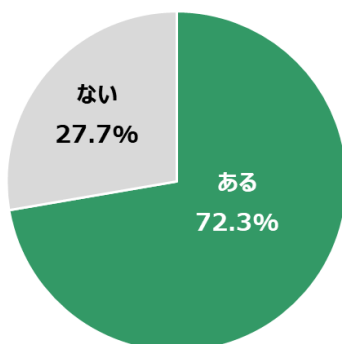
順位	重視する点	割合
1位	野菜の品種名	61.8%
2位	タネ袋・苗ラベルに記載されているまきどきの期間	37.8%
3位	タネ袋・苗ラベルに記載されている植えてから収穫までの期間	33.1%
4位	金額が安いもの	21.6%
5位	タネ袋・苗ラベルに記載されている野菜の紹介文	19.9%

⑥ 7割以上が家庭菜園での失敗を経験！失敗原因の1位は「虫」

家庭菜園で失敗した経験がある人は72.3%と7割を超える結果となりました。失敗してしまった原因のランキングでは、「虫が発生した」(38.8%)が1位となりました。2位は「自分の管理が悪かった」(38.3%)、3位「土が悪かった」(31.8%)と続き、家庭菜園での野菜作りに苦労した様子がわかりました。

●家庭菜園で失敗した経験はあるか

<家庭菜園経験あり (N=296) >



●家庭菜園で失敗した原因

<家庭菜園での失敗経験あり (N=214) >

※複数回答、トップ5

順位	失敗原因	割合
1位	虫が発生した	38.8%
2位	自分の管理が悪かった	38.3%
3位	土が悪かった	31.8%
4位	肥料が悪かった	20.6%
5位	水をやりすぎた	19.2%

家庭菜園での野菜作りで実践しているコツ（自由回答）

家庭菜園をやっている人に野菜作りで実践しているコツについて聞いてみました。

- 「もったいなくても間引く！」（40代女性）
- 「日当たりと水加減」（50代女性）
- 「野菜作りは土作り」（40代男性）
- 「肥料との相性」（20代男性）
- 「虫が来ないようにとうがらしの絞り汁をスプレーで散布する」（20代男性）
- 「まめにチェック。ハーブを育てる、とうがらしをまく、CDをぶら下げる、網をかける」（50代女性）

<タキイ種苗 広報出版部 桐野からのコメント>

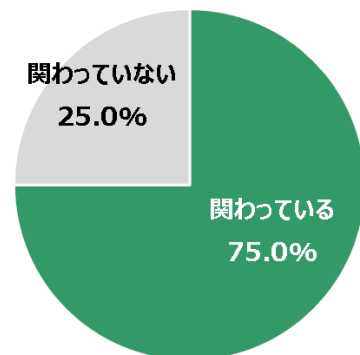
「家庭菜園をされている皆さま、さまざまな方法で工夫・実践されていますね。家庭菜園やプランター栽培で野菜がたくさん収穫できると、料理や漬物、干し野菜にするなど色々楽しめます。きちんと収穫できるようタキイ種苗では、ホームページ内「家庭菜園 野菜栽培マニュアル（<http://www.takii.co.jp/tsk/manual/>）」に野菜の栽培方法を初心者にもわかりやすくイラストや画像を使い説明しています。ぜひ、これらも活用して、家庭菜園を楽しんでください」

⑦ 家庭菜園経験者の7割以上は「親子で野菜作り」

0～12歳の子どもの同居している家庭菜園経験者に、子どもが野菜作りに関わっているかを尋ねたところ、75.0%が「関わっている」と回答し、7割以上の家庭で親子一緒に家庭菜園での野菜作りに取り組んでいる様子が明らかになりました。

●家庭菜園での野菜作りに子どもが関わっている

<0～12歳の子どもの同居している家庭菜園経験者（N=116）>



6. プラスチックゴミと野菜

① 8割の人が「包装なしの野菜に抵抗感なし」、6割が「包装がない(少ない)方がいい」

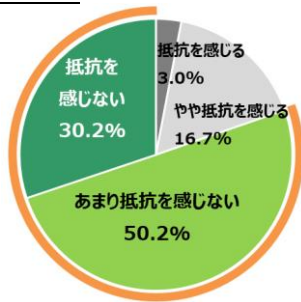
プラスチックゴミの環境への深刻な影響がメディアでも多く報じられる中、野菜のプラスチック包装について尋ねたところ、野菜購入の際、包装がない(少ない)ものに対して「抵抗を感じない」(30.2%)、「あまり抵抗を感じない」(50.2%)を合わせると80.4%となり、8割の人は包装がない(または少ない)野菜に対し、抵抗感を感じていないことがわかりました。

また、「野菜を購入するとき、包装がない(少ない)方がいい」(21.0%)、「ややそう思う」(39.0%)は合わせて60.0%となり、購入者でも野菜の包装が少なくて済むことを望んでいる人が多いことがわかる結果となりました。

●野菜を購入するとき、包装がない(少ない)ものに対して

抵抗を感じるか

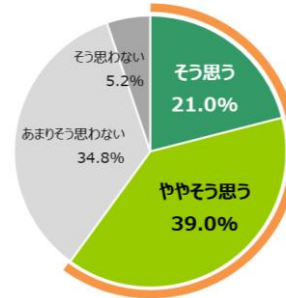
<全体 (N=600) >



「野菜購入の際、包装がない(少ない)ものに対して
抵抗感を感じない」計 **80.4%**

●野菜を購入するとき、包装がない(少ない)方がいいと思うか

<全体 (N=600) >



「野菜購入の際、包装がない(少ない)方がいい」
計 **60.0%**

②「地球にやさしいと思うから」包装がない方がいいと思う人が6割

野菜購入の際、「包装がない(少ない)方がいい」と答えた人にその理由を尋ねたところ、1位は「地球にやさしいと思うから」(60.0%)となりました。2位の「調理する際ゴミを捨てるのが面倒くさいから」(58.6%)も約6割となっており、環境面でも、家事の中の手間としても、包装がない(少ない)方がいいと考える人が多いことがわかりました。また、3位は「より新鮮だと思うから」(24.4%)、4位は「より安いと思うから」(15.6%)となりました。

●野菜に包装がない(少ない)方がいいと思う理由 <野菜に包装がない(少ない)方がいいと思う人 (N=360) >

※複数回答、トップ4

1位	地球にやさしいと思うから	60.0%
2位	調理する際ゴミを捨てるのが面倒くさいから	58.6%
3位	より新鮮だと思うから	24.4%
4位	より安いと思うから	15.6%

③ バラ売り(包装なし)で買っていい野菜TOP3は「たまねぎ」、「にんじん」、「大根」

バラ売り(包装なし)で買っていい野菜があるかを尋ねたところ、多くの野菜が挙げられました。1位「たまねぎ」(67.3%)、2位「にんじん」(67.2%)、3位「大根」(66.0%)と、いずれも高いスコアとなっています。5位には人気の「トマト」(63.7%)もランクインしました。全体的に皮がしっかりしているものや、ボリュームのある野菜が多い結果となりました。

一方、スコアが低かった野菜は、「モロヘイヤ」(16.5%)、「オクラ」(18.5%)、「さやいんげん」(18.7%)、「そら豆」(18.8%)などが挙げられました。

●バラ売り(包装なし)でもよいと思う野菜

(N=600) ※複数回答、トップ5

1位	たまねぎ	67.3%
2位	にんじん	67.2%
3位	大根	66.0%
4位	じゃがいも	65.8%
5位	トマト	63.7%
6位	きゅうり	61.2%
7位	さつまいも	59.7%
8位	キャベツ	57.7%
9位	かぼちゃ	55.5%
10位	なす	54.2%

7. 時短と野菜

① 平日の料理時間、男性「15～30分未満」、女性「45分～1時間未満」が最多。

「料理はしない」男性は38.0%に対し、女性は8.0%

平日の1日当たりの料理にかかる時間については、男性は「15～30分未満」(21.3%)が最も多く、次いで「15分未満」(17.7%)、「45分～1時間未満」(10.0%)となりました。「料理はしない」(38.0%)男性が比較的多いこともわかりました。

一方、女性は、「料理をしない」人は8.0%と少数派で、料理にかかる時間は「45分～1時間未満」(22.3%)、「15分～30分未満」(20.0%)、「30分～45分未満」(15.3%)と、男性に比べて長い時間をかけていることがわかりました。

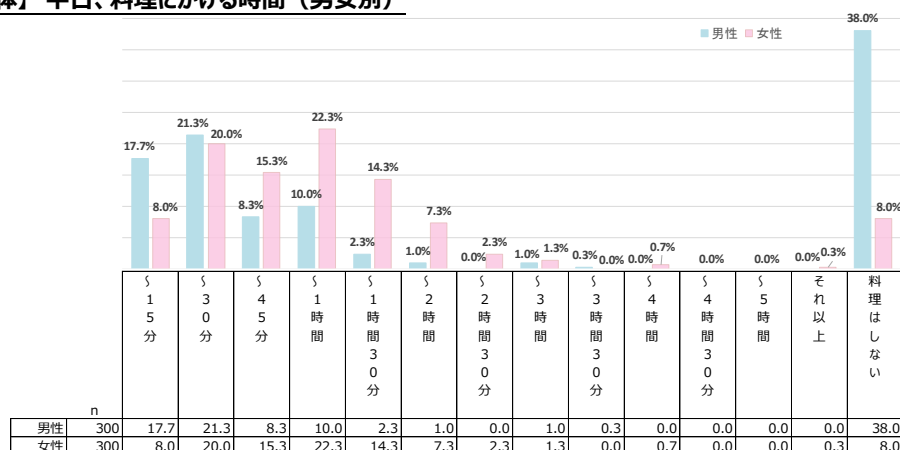
② 「共働き世帯」の料理時間、男性は短くなるが、女性の料理時間は長くなる傾向。

「料理はしない」男性は37.1%と変わらず、女性は5.0%と、全体より少ない

では、共働き世帯では、平日に料理にかかる時間はどう変化するでしょうか。男性は「15分未満」(19.4%)と「15～30分未満」(19.4%)が同率で最も多く、次いで「30～45分未満」(12.1%)となり、全体に比べ料理時間が短くなる傾向にあることがわかりました。「料理はしない」(37.1%)男性の割合は全体の割合(38.0%)とほぼ同じでした。

一方、共働き世帯の女性は、料理にかかる時間は「45分～1時間未満」(26.1%)と、それに続く「30～45分未満」(21.0%)の割合が増えています。働く女性では、「料理をしない」(5.0%)割合が全体の割合(8.0%)より低く、共働き世帯では料理は女性の担当になっていることがうかがえます。

●【全体】 平日、料理にかかる時間（男女別）



●【共働き世帯】 平日、料理にかかる時間（男女別）

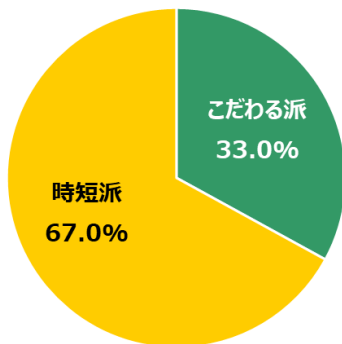


③ 令和はますます「時短料理時代」となるか？約7割が「時短派」

料理について、時間をかけてこだわりたい「こだわる派」は 33.0%、味よりも時短を優先する「時短派」は 67.0%となり、約 7 割の人は「時短派」であることが明らかになりました。子どもがいる人で見ると、子どもが成長した家庭の方が料理にこだわるようになる割合が高く、21 歳以上の子どもがいる人では「こだわる」(2.7%)、「どちらかというこだわる」(37.8%)を合わせて 40.5%と特に高く、子どもが成長して手がかからなくなり、料理に時間をかけてこだわる人が増えるようです。一方、「時短派」は全体的に多いものの、特に「0～5 歳の子どもがいる」人では 73.1%、「13～15 歳の子どもがいる人」では 71.7%と、特に高いスコアとなりました。

●料理に時間をかけてこだわりたいか 味より時短を優先することが多いか

<平日と休日どちらも料理をすると回答した人 (N=455) >



●「こだわる派」・「時短派」を子どもの年齢別で見た表

<平日と休日どちらも料理をする、かつ子どもと同居している人 (N=244) >

		こだわる派			時短派			
		こだわる こと の方 が多い	ど ち ら か の 方 が 多 い	「 こ だ わ る 派 」 合 計	方 が 多 い 優 先 す る こ と の	ど ち ら か の 方 が 多 い 優 先 す る こ と の	「 時 短 派 」 合 計	
n								
	全体	455	6.8	26.2	33.0	49.9	17.1	67.0
子どもの 年齢	0～5歳	108	6.5	20.4	26.9	53.7	19.4	73.1
	6～12歳	98	8.2	21.4	29.6	54.1	16.3	70.4
	13～15歳	53	3.8	24.5	28.3	64.2	7.5	71.7
	16～18歳	37	5.4	29.7	35.1	54.1	10.8	64.9
	19～20歳	17	11.8	17.6	29.4	47.1	23.5	70.6
	21歳以上	37	2.7	37.8	40.5	45.9	13.5	59.5

* ■は全体+10ポイント以上、■は+5ポイント以上、■は-10ポイント以下、■は-5ポイント以下

④ 「トマト」は「時短料理」の救世主でもある！？

「野菜を十分に食べたり料理したりするだけの時間がない」(2-②)という悩みが挙げられましたが、忙しい現代人は、料理をする時間がないとき、どのような野菜を選んで購入しているのでしょうか。1位は「トマト」(51.9%)が過半数を超え、そのままでも食べられ、焼く・煮るなどしてもおいしい「トマト」が時短メニューでも活躍していることがわかりました。2位には「たまねぎ」(41.5%)が入り、1位、2位の順位は「大人の好きな野菜ランキング」と同様となりました。3位「キャベツ」(39.3%)、4位「きゅうり」(36.9%)、5位「レタス」(31.4%)までは3割を超えており、サラダでも食べられる野菜が、時間がないときに重宝されている様子わかります。

6位「じゃがいも」(21.1%)、7位「にんじん」(19.3%)は、保存性の高さやさまざまな料理に使える点で評価されていることが考えられます。

●料理をする時間がないときに使用する野菜

<料理をすると回答した人 (N=455) >

※複数回答、トップ10

1位	トマト	51.9%
2位	たまねぎ	41.5%
3位	キャベツ	39.3%
4位	きゅうり	36.9%
5位	レタス	31.4%
6位	じゃがいも	21.1%
7位	にんじん	19.3%
8位	なす	18.2%
9位	ピーマン	17.8%
10位	ほうれん草	17.6%

【参考資料】

1. 「大人が好きな野菜」ランキング 2009年～2019年

タキイ種苗が本調査を開始した2009年から今年度までの、11年間分の「大人が好きな野菜」「大人が嫌いな野菜」ランキングです。

(2019年度のトップ10と、2009年～2018年のトップ5)

2019年 (N=600) ※複数回答

1位	トマト	68.2%	➡ +2.4pt
2位	たまねぎ	65.3%	➡ +0.3pt
3位	とうもろこし	65.2%	⬆ +6.5pt
4位	じゃがいも	64.5%	➡ +4.7pt
4位	枝豆	64.5%	⬇ +4pt
6位	なす	60.2%	⬆ +4.5pt
7位	アスパラ	59.2%	⬆ +5.9pt
8位	大根	58.5%	⬇ ±0
9位	さつまいも	58.5%	⬆ +7.2pt
10位	キャベツ	58.5%	⬇ -1.3pt

2018年 (N=600) ※複数回答

1位	トマト	65.8%
2位	たまねぎ	65.0%
3位	枝豆	60.5%
4位	じゃがいも	60.3%
5位	キャベツ	59.8%

2017年 (N=600) ※複数回答

1位	トマト	68.8%
2位	じゃがいも	64.2%
3位	たまねぎ	63.5%
4位	とうもろこし	60.8%
5位	キャベツ	59.8%

2016年 (N=600) ※複数回答

1位	トマト	70.5%
2位	たまねぎ	68.7%
3位	じゃがいも	67.8%
4位	キャベツ	64.7%
5位	枝豆	64.5%

2015年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	21.7%
2位	じゃがいも	9.2%
3位	たまねぎ	6.8%
4位	キャベツ	4.7%
4位	枝豆	4.7%

2014年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	17.5%
2位	じゃがいも	12.2%
2位	たまねぎ	6.2%
4位	スイカ	5.5%
5位	メロン	5.3%

2013年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	21.0%
2位	じゃがいも	7.7%
2位	メロン	7.7%
4位	スイカ	5.8%
5位	たまねぎ	5.7%

2012年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	19.0%
2位	じゃがいも	10.5%
3位	スイカ	7.0%
4位	とうもろこし	5.8%
5位	キャベツ	5.3%
5位	メロン	5.3%

2011年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	15.3%
2位	じゃがいも	10.2%
3位	メロン	8.3%
4位	スイカ	7.3%
5位	たまねぎ	6.3%

2010年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	14.5%
2位	メロン	11.3%
3位	スイカ	8.5%
4位	じゃがいも	7.5%
5位	たまねぎ	6.0%

2009年 (N=600) ※単一回答

1位	トマト	15.5%
2位	メロン	11.0%
3位	じゃがいも	9.3%
4位	たまねぎ	6.2%
5位	スイカ	6.0%

- 「大人が好きな野菜」、11年間No.1は「トマト」!
- 11年間連続でトップ5入りしている野菜は、「トマト」と「じゃがいも」。
- 「たまねぎ」が徐々に順位を上げ、2014年から6年連続でトップ3入り。昨年度から2年連続で2位に。

2. 「大人が嫌いな野菜」ランキング 2009年～2019年

(2019年度のトップ10と、2009年～2018年のトップ5)

2019年 (N=600) ※複数回答

1位	セロリ	24.3%	↑ -3.4pt
2位	ゴーヤ	20.3%	↓ -7.5pt
3位	春菊	16.2%	↑ ±0
4位	モロヘイヤ	13.3%	↓ -4.9pt
5位	カリフラワー	12.2%	→ -4pt
6位	ズッキーニ	9.8%	→ -1.7pt
7位	とうがらし	9.0%	↑ -0.2pt
8位	にんじん	7.8%	↑ -1.9pt
9位	かぶ	7.7%	↑ +1.4pt
10位	ししとう	7.5%	↑ +0.5pt
嫌いな野菜は特にない		37.8%	+5.6pt

2018年 (n=600) ※複数回答

1位	ゴーヤ	27.8%
2位	セロリ	27.7%
3位	モロヘイヤ	18.2%
4位	春菊	16.2%
5位	カリフラワー	16.2%

2017年 (n=600) ※複数回答

1位	セロリ	23.8%
2位	ゴーヤ	22.0%
3位	モロヘイヤ	15.3%
4位	春菊	13.2%
5位	ズッキーニ	12.3%

2016年 (n=600) ※複数回答

1位	セロリ	24.2%
2位	ゴーヤ	22.8%
3位	モロヘイヤ	17.0%
4位	春菊	16.7%
5位	カリフラワー	12.0%

2015年 (n=600) ※単一回答

1位	ゴーヤ	11.3%
2位	セロリ	11.0%
3位	トマト	4.2%
4位	なす	3.7%
5位	モロヘイヤ	3.2%

2014年 (n=600) ※単一回答

1位	セロリ	12.8%
2位	ゴーヤ	9.3%
3位	モロヘイヤ	3.7%
4位	トマト	3.5%
5位	春菊	3.5%

2013年 (n=600) ※単一回答

1位	セロリ	12.7%
2位	ゴーヤ	10.3%
3位	春菊	5.2%
4位	トマト	4.5%
5位	カリフラワー	3.8%

2012年 (n=600) ※単一回答

1位	セロリ	11.2%
2位	ゴーヤ	10.5%
3位	トマト	3.7%
3位	春菊	3.7%
5位	モロヘイヤ	3.2%

2011年 (n=600) ※単一回答

1位	ゴーヤ	13.0%
2位	セロリ	11.0%
3位	モロヘイヤ	4.2%
4位	春菊	3.5%
5位	ピーマン	3.2%

2010年 (n=600) ※単一回答

1位	ゴーヤ	12.8%
2位	セロリ	7.3%
3位	モロヘイヤ	4.3%
4位	カリフラワー	3.7%
5位	ピーマン	2.8%

2009年 (n=600) ※単一回答

1位	セロリ	11.7%
2位	ゴーヤ	11.0%
3位	モロヘイヤ	4.8%
4位	春菊	4.5%
5位	トマト	3.7%

- 11年間でトップになったのは「セロリ」が7回、「ゴーヤ」が4回。
- 11年間連続でトップ5入りした野菜も「セロリ」と「ゴーヤ」のみ。

3. 「子どもが好きな野菜」ランキング 2012年～2019年

2009年から続く本調査において、本設問を設けた2012年から今年度までの、8年間分の「子どもが好きな野菜」「子どもが嫌いな野菜」ランキングです。

※回答者(全国の20歳以上の男女600名)が同居している子どもについて回答

(2019年度のトップ10と、2012年～2018年のトップ5)

2019年 (N=306) ※複数回答

1位	トマト	48.7%	➡ +2.5pt
2位	とうもろこし	47.4%	⬆ +8.1pt
3位	さつまいも	45.4%	⬆ +6.1pt
4位	じゃがいも	45.1%	⬇ -0.2pt
5位	スイカ	44.4%	➡ +9.5pt
6位	メロン	40.2%	⬆ +6.9pt
7位	きゅうり	35.9%	➡ +2.9pt
8位	枝豆	34.6%	⬆ +5pt
9位	たまねぎ	31.0%	⬆ +5.8pt
10位	かぼちゃ	30.4%	⬇ -3.2pt

2018年 (N=318) ※複数回答

1位	トマト	46.2%
2位	じゃがいも	45.3%
3位	とうもろこし	39.3%
4位	さつまいも	38.1%
5位	スイカ	34.9%

2017年 (N=305) ※複数回答

1位	トマト	47.9%
2位	じゃがいも	42.6%
3位	さつまいも	41.6%
4位	とうもろこし	39.7%
5位	メロン	39.0%

2016年 (N=272) ※複数回答

1位	トマト	48.9%
2位	じゃがいも	48.5%
3位	メロン	44.9%
4位	とうもろこし	44.1%
5位	スイカ	43.8%

2015年 (N=264) ※単一回答

1位	トマト	23.9%
2位	じゃがいも	10.6%
3位	にんじん	6.8%
3位	とうもろこし	6.8%
5位	さつまいも	6.1%

2014年 (N=259) ※単一回答

1位	トマト	25.1%
2位	じゃがいも	8.1%
2位	とうもろこし	8.1%
4位	メロン	7.7%
4位	スイカ	7.7%

2013年 (N=275) ※単一回答

1位	トマト	30.5%
2位	きゅうり	9.5%
3位	スイカ	8.0%
4位	じゃがいも	5.8%
5位	メロン	5.5%

2012年 (N=256) ※単一回答

1位	トマト	25.4%
2位	きゅうり	12.5%
3位	とうもろこし	8.6%
4位	じゃがいも	8.2%
5位	枝豆	6.3%

- 「子どもが好きな野菜」、8年間 No.1 は「トマト」！で、大人と共通して不動の人気。
- 8年連続でトップ5入りした野菜は「トマト」と「じゃがいも」で、こちらも大人と同じ結果に。
- 子どものランキングでは、「とうもろこし」、「さつまいも」、「スイカ」、「メロン」など、甘みの強い野菜が多いことが特徴。

4. 「子どもが嫌いな野菜」ランキング 2012年～2019年

(2019年度のトップ10と、2012年～2018年のトップ5)

2019年 (N=306) ※複数回答

1位	ゴーヤ	35.3%	➡ +1pt
2位	春菊	29.1%	⬆ +0.8pt
3位	セロリ	28.4%	⬇ -0.2pt
4位	ピーマン	25.8%	➡ +4.1pt
5位	とうがらし	25.2%	⬆ +4.4pt
6位	トマト	22.5%	⬆ +2.4pt
7位	なす	20.6%	⬆ +1.1pt
8位	ししとう	19.3%	⬆ +1.7pt
9位	モロヘイヤ	19.0%	⬇ -2.7pt
10位	ネギ	16.0%	➡ +1.5pt
嫌いな野菜は特にない		19.9%	-1.5pt

2018年 (N=318) ※複数回答

1位	ゴーヤ	34.3%
2位	セロリ	28.6%
3位	春菊	28.3%
4位	ピーマン	21.7%
4位	モロヘイヤ	21.7%

2017年 (N=305) ※複数回答

1位	ゴーヤ	35.1%
2位	セロリ	30.2%
3位	春菊	27.2%
4位	とうがらし	23.0%
5位	ピーマン	19.7%

2016年 (N=272) ※複数回答

1位	ゴーヤ	36.0%
2位	ピーマン	27.9%
3位	セロリ	26.8%
4位	春菊	26.1%
5位	とうがらし	23.9%

2015年 (N=264) ※単一回答

1位	ピーマン	12.9%
2位	ゴーヤ	11.7%
3位	トマト	10.6%
4位	とうがらし	6.1%
5位	セロリ	4.9%

2014年 (N=259) ※単一回答

1位	ゴーヤ	14.3%
2位	ピーマン	13.9%
3位	トマト	10.0%
4位	なす	5.8%
4位	セロリ	5.8%

2013年 (N=275) ※単一回答

1位	ゴーヤ	17.8%
2位	ピーマン	14.2%
3位	トマト	8.0%
4位	なす	6.2%
5位	セロリ	5.1%

2012年 (N=256) ※単一回答

1位	ゴーヤ	17.2%
2位	ピーマン	14.1%
3位	トマト	8.2%
4位	セロリ	5.1%
5位	とうがらし	4.7%

- 8年間のうち、7回「ゴーヤ」が1位に。
- 8年間連続でトップ5入りした野菜は「ゴーヤ」、「ピーマン」、そして「セロリ」。
- 「ピーマン」は2012年から2016年までで1位が1回、2位が4回だったが、2017年以降は順位を落としている。

5. 「家庭菜園で作る（作ったことがある）野菜」ランキング 2012年～2019年

2009年から続く本調査において、本設問を設けた2012年から今年度までの、8年間分の「家庭菜園で作る（作ったことがある）野菜」ランキングです。

（2019年度のトップ10と、2012年～2018年のトップ5）

2019年 (N=296) ※複数回答

1位	トマト	81.8%
2位	きゅうり	51.4%
3位	なす	43.6%
4位	ピーマン	32.1%
5位	ネギ	28.4%
6位	ゴーヤ	19.3%
7位	オクラ	18.9%
8位	枝豆	17.6%
9位	じゃがいも	17.2%
10位	ハーブ類	14.5%

2018年 (N=278) ※複数回答

1位	トマト	77.3%
2位	きゅうり	46.8%
3位	なす	37.8%
4位	ピーマン	27.3%
5位	ネギ	20.5%

2017年 (N=268) ※複数回答

1位	トマト	78.7%
2位	きゅうり	52.6%
3位	なす	43.3%
4位	ピーマン	32.5%
5位	ネギ	30.6%

2016年 (N=299) ※複数回答

1位	トマト	71.6%
2位	きゅうり	42.1%
3位	なす	37.1%
4位	ピーマン	28.1%
5位	ネギ	21.4%

2015年 (N=270) ※複数回答

1位	トマト	74.8%
2位	きゅうり	41.5%
3位	なす	39.3%
4位	ピーマン	24.4%
4位	ネギ	23.0%

2014年 (N=293) ※複数回答

1位	トマト	76.1%
2位	きゅうり	38.6%
2位	なす	37.2%
4位	ピーマン	25.9%
5位	ネギ	22.2%

2013年 (N=304) ※複数回答

1位	トマト	75.0%
2位	きゅうり	37.8%
2位	なす	35.2%
4位	ネギ	27.6%
5位	ピーマン	25.3%

2012年 (N=334) ※複数回答

1位	トマト	74.0%
2位	きゅうり	44.9%
3位	なす	40.7%
4位	ピーマン	28.7%
5位	ネギ	24.0%

- 「家庭菜園で作る（作っている）野菜」、8年間 No.1 は「トマト」！「食べる」だけでなく「作る」も大人気！
- 8年間でトップ5の顔ぶれは変わらず、「トマト」、「きゅうり」、「なす」、「ピーマン」、「ネギ」となった。